

第2回学校運営協議会会議録

開催日時	令和5年11月22日（水） 13時30分 ～ 15時00分
会 場	北海道北斗高等支援学校被服室
出席者数	16名（うち生徒会役員4名）
内容	
1 説明・協議	(1) 職場実習について (2) 後援会の取組について (3) 学校評価について
2 協議「学校が地域と一緒に活動できること、学校が地域に貢献できること」	【Aグループ】 ○ 学校としてできること PR活動（清掃の内容を知ってもらう）、歳末助け合い運動参加（募金活動等）、除雪活動 ○ 個人としてできること 声掛け、挨拶、近所の方のゴミ出しの手伝い、買い物の手伝い ○ 生徒がしてもらいたいこと 清掃しているところを見掛けたら、声掛けや挨拶してもらえるとやる気が出る。 【Bグループ】 お年寄りの家の除雪、災害時の避難の手伝い、地域の祭りの手伝い（学校のアピールにつながる）、お年寄りにスマホの使い方を教える、ゴミ拾いなどのボランティア、花植え 【Cグループ】 高齢者宅の雪かき、地域の人とのふれあい、小・中学校との交流（クラブ活動等）、高齢者の外出サポート（買い物支援等）、保育園児との交流、夏まつりの参加、清掃活動（海岸清掃、街中清掃、草刈り、ゴミ拾い、高齢者宅の清掃等を部活のユニフォームで）、消防署や郵便局等、日頃お世話になっているところへのお礼やプレゼント、リンゲルの回収、高齢者へのスマホの使い方講座 【Dグループ】 除雪（かなで〜る、清川口駅、高齢者宅）、スマホの使い方を教える、地域の人を集めての発表活動、話し相手
3 助言	・生徒の「地域の人たちの役に立ちたい」という気持ちをどのように実現するか。高齢者が多いなど、地域事情はあるが、地域の困り感に生徒が取り組み、生徒がやりたいことを地域が実現する体制が望ましい。 ・北斗高等支援学校の生徒が地域の財産であり、財産を活用できる環境を整えることが学校教育である。委員の皆さんの人脈や専門性を活かして実施可能な活動を模索し、生徒が輝けるような活動を実施してほしい。 ・生徒が参加する学校運営協議会はあまり聞いたことがない。生徒が自分の意見を言える場所や機会があることは大事である。意見することは権利であり、当事者が参加する機会を今後も設けるようにしていただきたい。 ・実際に実施可能な活動は、「除雪」が考えられる。貢献する活動を行うことで、生徒は自信が持てるとともに、地域と生徒を結び付けることにつながる。
6 校長から	・貴重な意見をいただき、学校で検討する。今後も地域の協力をお願いしたい。
上記のとおり会議を実施した。 令和5年11月22日 北海道北斗高等支援学校長 澤 田 崇 史 ㊞	